

新入会員のご紹介



日本ウエスト東海株式会社

●種別・業種 正会員・処分業

●住所 三重郡川越町大字亀崎新田字下新田80番地1
●代表者名 代表取締役 長田 和志
●電話 059-328-5650

日本ウエストグループの中部地区における拠点工場です。RPF化を中心にタイヤ・木くずなど未利用なモノを資源にかえる「エネルギー」が当社のキーワードです。グループ会社によりメガソーラー発電事業を開始します。



中央環境総設株式会社

●種別・業種 正会員・収集運搬業

●住所 四日市市生桑町887番地
●代表者名 代表取締役 松尾 英利
●電話 059-330-6265

弊社は、三重県四日市市を中心に水道設備業を営んでおります。佐賀県に営業所を持ち、年内に宮城県にも営業所を出す予定です。環境問題にも関心があり、ISO14001を取得し、社会貢献したいと思っております。

有限会社 青山建設

●住所 津市美杉町八知76
●代表者名 代表取締役 青山 政司
●種別・業種 正会員・収集運搬業
●電話 059-272-1717

株式会社 サクセス

●住所 南牟婁郡御浜町上市木1100番地
●代表者名 代表取締役 奥山 正樹
●種別・業種 正会員・処分業
●電話 05979-2-0024

会員の現況(平成24年8月1日～平成24年12月31日)

会員の現況(平成24年12月31日現在)		
正 会 員	排出事業者	46
	処 理 業 者	321
賛 助 会 員		20
会 員 合 計		387

～協会への入会のおすすめ～

当協会は、「三重の県土の環境保全」を理念としており、産業廃棄物に関する指導、相談、普及啓発、情報提供、研修等を行うことにより、会員の資質向上を図ると共に、3Rの推進による循環型社会の構築及び産業廃棄物の適正な処理を推進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、県民の福祉向上に寄与することを目的としています。

産業廃棄物処理事業者をはじめ関係者の方のご入会を是非ともお願い申し上げます。

○入会金及び会費

種 別	正 会 員			賛 助 会 員 正会員以外の 個人、法人、団体
	排出事業者	収集運搬業者	中間処理業者 最終処分業者	
入 会 金	10,000円			
会 費	5,000円(月額)		10,000円(月額)	50,000円(年額)

●入会申し込み方法：入会申込書、業の許可証の写し(許可業者のみ)を提出して頂くことになっております。入会申込書については、協会事務所へご連絡ください。

第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会 ～災害廃棄物の速やかな循環を目指して～

平成24年10月26日(金)東京都内で、(公社)全国産業廃棄物連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団の主催により開催、約600名の関係者が参加し、表彰式、パネル討論会等が行われました。

●基調講演● 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル部 梶原部長

- ・東日本大震災におけるがれきが約1800万トンあり、迅速に撤去すべく広域処理を進めていくので協力願いたい。平成26年3月までには完了したい。
- ・特別措置法により、本来市町村の仕事であるが県が処理できることとした。また、国が代行できることとし、福島県ではこの制度を活用している。
- ・産業廃棄物処理施設を一般廃棄物の処理にも使用できるようにした。さらに、再委託も認めることとした。
- ・個人の財産(家、車等)を「解体してもよいという了解」を取得できない時等の指針を作成した。
- ・セシウム濃度は、焼却して8000ベクレル以下であっても、安全を確保するため、一次仮置場、二次仮置場でも濃度を確認している。受入時、焼却、埋立時の濃度確認、運搬コンテナごとの濃度確認をしている。
- ・放射線物質汚染対策特別措置法は、除染が主体であるが、20km以内の地区のがれきは国が直接処理する。

●パネル討論会●

- ・岩手県産廃協会、宮城県産廃協会、福島県産廃協会及び東京都産廃協会から、津波堆積物、魚網や水産物の処理の状況、仮置場の確保、選別、放射能の問題、市町村の体制、一般廃棄物の制約などの意見が出された。
- ・環境省からは、現在の震災廃棄物処理指針は具体論にかけているので改定を進めていること、市町村、県、国の役割の明確化、民間の応援体制、一般廃棄物の制約から手続き等の検討を進める必要があるとの意見が出された。
- ・平常時から官民等とのパートナーシップや広域連携体制の確立、災害に備えるための知識ノウハウの集約と情報の共有が大切であるとコーディネーターがまとめられた。



第12回産業廃棄物と環境を考える全国大会は三重で開催

これまで産業廃棄物と環境を考える全国大会は、大都市で開催されてきましたが、第12回大会は、今年11月8日(金)に三重県志摩市で開催します。

ちょうど今年は伊勢神宮の第62回式年遷宮が予定されています。この機会にぜひとも三重県伊勢志摩へお越しいただき、悠久の歴史と豊かな自然と素朴な人情に触れてみませんか。

■平成24年度「災害廃棄物処理の応援協定書」に基づく支援体制の実態調査結果

平成16年4月28日付けで三重県と当協会が締結した「災害時におけるがれき等の廃棄物の処理に関する応援協定」に基く支援体制の24年12月の調査結果がまとまりました。万が一、大災害が発生した場合には、ご協力の程宜しくお願いいたします。

なお、平常時から連絡体制を構築するため、平成25年1月下旬に三重県、関係市、協会協力会員との間で災害廃棄物情報伝達訓練を実施します。

業 種	協力事業所数	協 力 内 容	
収 運	186	仮置場作業重機等	330
		ダンプ	689
		トラック	306
		パッカー車	142
		その他	221
中 間	74	家屋解体車両	534
		焼却施設	5
		破碎施設	97
		圧縮施設	17
最 終	6	その他	10
		管理型	3箇所
計		安定型	3箇所
		協力会員数 189社	